

音楽ホール・中心部震災メモリアル 拠点複合施設整備

新たな「ひと」の流れづくり

- 生の音の響きを重視した2,000席規模の大ホールを備え、仙台の文化芸術の総合拠点となる音楽ホールと、防災環境都市・仙台ならではの災害文化の創造拠点となる中心部震災メモリアル拠点の複合施設を、本市のアイデンティティを象徴的に示す場所である青葉山エリアに整備します。
- 両拠点が有機的に結びつき、仙台ならではの創造・発信を行っていくことにより、交流人口・関係人口の拡大などを通じて都市の発展に貢献し、未来をより豊かにする施設を目指します。



仙台国際音楽コンクール

仙台フィルハーモニー管弦楽団をレジデントオーケストラに位置づけ、仙台国際音楽コンクールの新たな会場となるなど、「楽都仙台」をさらに発展させる拠点となります。

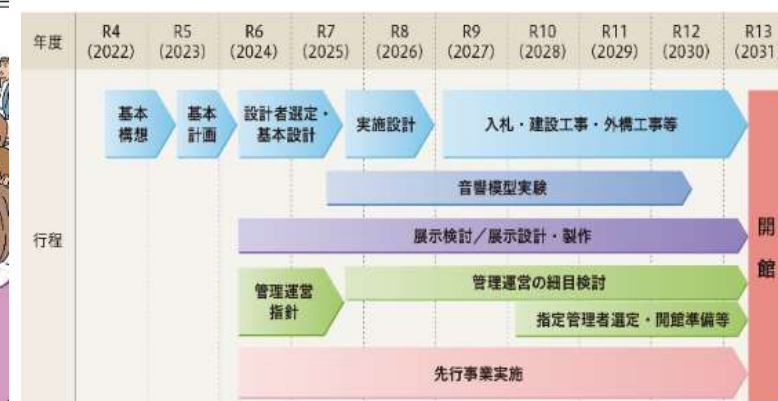


中心部震災メモリアル拠点の活動イメージ

多様な主体の参画・交流により、災害を知り・日常的に備え・発生した災害を乗り越えていく「災害文化」を創造し、社会に定着させていく拠点となります。



令和6年度に設計者を選定する公募型プロポーザルを実施し(株)藤本壮介建築設計事務所を受注候補者に特定しました
※画像はプロポーザル時に同社より示された施設外観イメージ



整備スケジュール

令和13年度（2031年度）中の開館を目指し、着実に整備を進めます。

企業の皆様へのメッセージ

本施設は、東日本大震災からの復興とさらなる発展のメッセージを打ち出し、仙台と世界をつなぐ存在となることを目指しています。杜の都の新たなシンボルとなる施設の整備に向け、ご支援をお願いいたします。